



宮司プレス 第百九十五号

彦島八幡宮 宮司ニユース
発行者 彦島八幡宮
宮司 柴田 宜夫

発行 令和五年 一月 十九日

◇宮司の柴田です。 新年おめでとうございませ。 本年も、なにとぞ宜しくお導きくださいませ。 令和五年初めての、宮司プレス百九十五号の発行ですが、順調に毎月一回発行のペー
スを遵守（じゅんしゆ）してさえいれば、今月号は二百号に到達しているはず。 したが
いまして、相変（あいか）変わらず、遅れの累積（るいせき）は、五ヶ月のままなのです。 遅
れの軌道（きどう）を修正することが、二百号への到達の近道になるわけです。 お待たせしました、宮司プレス第百九十五号の発行です。
◇さて、本年の干支（えと）は、「癸卯（みずのと）」でありまして、六十通りある、十干十二支（じゅつかんじゆうにし）の組み合わせの四十番目、昭和三十八年にお生まれになった方と同じ干支です。 特に今年の「癸（き）」は、十干（甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸）
（こう・おつ・へいてい・ぼ・き・こう・しん・じん・き）の掉尾（とうび、終わりのこと）です。 であり、終わりと再生を意味します。 前号でも詳述（しょうじゆつ）しましたが、「卯（う）」は、「茂（ぼう）」と「冒（ぼう）」に由来します

ので、「若葉が茂りおおっている」、つまり、包みこまれている状態といえます。 したが
いまして、「何かが終わわり、何かが始まり、包みこまれるように茂る」年とでも解釈（かいしやく）できるのではないでしょうか。
◇平成二十六年の甲午年（きのえうまのとし）から始めた、干支の書初め、今年で十年目となりました。 水荃（みずくき）の跡（あと）が、麗（うつく）しくありませんが、安全祈願で参拝された企業様に、無謀（むぼう）としりつつ、お頒（わか）かちしています。 昨年（こぞ）から、あつかましくも、アクリル板の卓上盾（たくじょうたて）をも謹呈（きんせい）し、今年からは、色紙の差し替えをお願いしている顛末（てんまつ）と化（くわ）しています。 今年（ことし）は、三種（さんしゆ）類、墨書（ぼくしよ）しました。
◇一枚目は、「三幸卯（さんこうぼう）」です。 宮司プレスの既刊号（きかんごう）にも記述（きじゆつ）しましたが、幸せには、「してもらう幸せ」と「できる幸せ」、さらに、「してあげる幸せ」の三つがあります。 感謝（かんしゃ）と謙虚（けんこ）な気持ちで、利他（りた）、優しい思いやりのある心で人に接（あ）し、「してあげる幸せ」を実践（じせん）する、昨年の

私の敬神生活（けいしんせい）の「スローガン」でもあった「三幸実践（さんこうじっせん）」にほかなりません。 そして、一枚目は、「葵神去私（きしんきよし）」です。 「葵（き、あおい）」となりまして。 御承知（ごしょうち）のとおり、「この紋所（もんじょ）もんどころ」が目にはいらぬか」でおなじみの、徳川家の御家紋（ごけもん）でもあります。 しかも、この「葵」は、太陽（たいやう）の方向（ほうきやう）を向くという植物（しょくぶつ）であり、天（あま）を仰（たの）ぐことから、まさに、大自然（おほ自然）の法則（はふそく）にしたがった姿（すがた）、その大切（たいせつ）さを示（し）し、素直（すぢ）な誠（まこと）の心をあらわしているのです。 この「葵神去私」の出典（しゆつてん）は、夏目漱石（なつめしゆせき）さんの、「則天去私（そくてんきよし）」でありまして、大自然（おほ自然）に身をゆだねて、私利私欲（しりしよく）をかなぐり捨（す）てて生きていく事の尊（たう）さを論（ろん）（さと）されています。 その「則天（そくてん）」を「葵神（きしん）」と替えさせていただきます。 葵（き）のように、神様（かみさま）に身をゆだね、常に、お天道様（てんどうさま）に顔を向け、前（まへ）を向（む）いて生活（せいかつ）しようというスローガンです。 さらに、三枚目は、「日葵（ひき）」です。 この葵（き）には、再生（さいせい）の時期（じき）に向け、足をそろえて出発（しゅつぱつ）の意味（い）も含ま（こま）れています。 私の敬神生活（けいしんせい）の「スローガン」の一つでもある、「日清日新日進（にっけい にっしん にっしん）」にあやかり、毎日、清々（せいせい）しく、新たな気持ちでスタートラインに立

ち、そして、一步一步、着実に歩（あゆ）んでほしいという願いを込めました。御希望の方へは、お頒（わ）けしています。御遠慮なくお申し出くださいませ。

◇新型コロナウイルスは、最初に発見されてから、わずか、三ヶ月で、世界に広まりました。そして、多くの人々を、屋内（おくない）にとどめてしまう力を見せつけました。地球規模の大惨事（だいさんじ）です。この大惨事のコロナ禍も四年目となりました。しかしながら、「三幸実践」の日々で、「三幸卯」、幸せに包みこまれながら、「葬神去私」、前向きに人生を楽しみつつ、「日登」、一步一步、着実に進みます。御自愛をお祈り申し上げます。

◇一月の祭典行事報告（予定も含む）

▼歳旦祭 *一月一日

◇本宮 午前八時

◇田の首八幡宮 午前〇時半

◇福浦金刀比羅宮 午前〇時半

◇貴布祢神社 午前六時半

▼花手水開催 *元旦〜一月十五日

▼元始祭 *一月三日



▼企業事始め安全祈願祭参拝、出張祈願祭 *一月四日〜六日

▼下関三井化学災害防止協議会参拝 *一月六日

▼福浦金刀比羅宮樹木伐採清祓式 *一月四日

▼田の首八幡宮どんど焼き *一月九日

▼六連島八幡宮歳旦祭、各家の戸別祓 *一月十一日

▼山口銀行はつてんクラブ参拝 *一月十二日

▼どんど焼き *一月十五日



▼節分祭にむけて「お多福門」設置



▼南風泊養殖ワカメ実行組合火入式 *一月二十日

▼朝粥会 *一月二十一日

※「ふく粥」を頂きます

◇一月の宮司動静報告（予定も含む）

▼彦島八幡宮関係団体

◆早起会新年参拝 *一月九日

◆維蘇志会どんど焼き奉仕、参拝 *一月十五日

▼山口県神社庁関係

◆山口県護国神社参拝 *一月二十六日

◆山口県神社総代会役員会 *一月二十六日

◆下関支部新年総会 *一月二十七日

▼教誨（美祢社旗復帰促進センター）活動

※集合教誨

◆女子 *一月二十三日

◆男子 *一月三十日

▼自治会関係

◆役員会 *一二二三日

